

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室別館			
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月3日		～	2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員の支援や技術。	訪問担当職員を決めて、その職員が継続して訪問できるように調整している。また必要に応じて訪問担当以外の職員や専門職員、児童発達支援管理責任者で情報交換しながら訪問支援に生かしている。	訪問担当の職員以外にも、訪問先へ訪問したり、事例検討会を積極的に開いて、訪問先で生かせる支援方法をチームとして考えていけるような体制づくりをしていく。
2	家族支援を定期的に行っている。	訪問支援後には、ご家族様と日程を調整しながら家族支援を行っている。家族支援の中で、ご家族様と直接顔を合わせる機会を作り信頼関係づくりに努めている。	毎月の家族支援を負担に思われるご家族さまもいるので、都合に合わせて、信用信頼してもらえるような支援を行っていく。
3	訪問先の園や学校の先生との連携の取り方。	訪問日の調整や、訪問時間とは別の時間で訪問した際の様子などを先生と情報共有することが密にできている。訪問した際に次回の訪問日の調整が難しい場合には、後日電話で連絡を取り合いながら訪問日を決定している。	訪問支援先の都合も考慮しながら、訪問日や時間を調整できるように、情報を伝えあったり、支援の方法を一緒に考えたりしながら、今後も訪問先との信頼関係を築いていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援開始前の打ち合わせができていない。	各児童の訪問担当職員が固定しているので、支援開始前の打ち合わせは行えていない。	事例検討など支援のヒントにつながる会議を積極的に開いてチームとして支援できるようにしていく。
2	定期的にSNSやブログ等で訪問の様子をお伝えできていない。	通所の様子はブログ等で記事にして配信しているが、訪問の様子は授業中に写真を撮ることが困難であり、様子をお伝えするに至っていない。	訪問先や保護者へ確認しながら、訪問支援した際にお写真の許可を取り、個人情報の取り扱いには十分注意しながらブログ等の記事で配信していきたい。
3	訪問支援を担当する職員以外は訪問支援の仕組みの理解が浅い。	訪問支援を担当する職員が固定化しているので、それ以外の職員は保育所等訪問支援の仕組みの理解が浅い。	訪問支援に興味がある職員に対しては、訪問担当の職員と一緒に実際に訪問したり、事業所内での情報共有会や研修などを開いて全員が理解を深められるようにしたい。